

◇ 電気の自由化がスタートで何処から電気を？ ◇

福地建装ファース本部では、過去30年以上にわたり、オール電化（全電化）の家づくりを行ってまいりました。それは、現場発泡の吹き付け断熱によって、気密性が非常に高くなります。そのため燃焼器具の利用は、ガスの発生や酸欠のリスクが高まり、必然的に燃焼ガスを出さない電化住宅となりました。

換気する事で燃焼ガスへの対処は可能ですが換気は、せっかく温め、冷やした室内の空気を捨てる事になります。更には湿気対策も出来ません。

少子高齢化などの時代背景で、家の性能に関係なくオール電化住宅が増え続けて参りました。ところが東日本大震災によって発生した原発事故を原因に、少しずつ電化の普及が下降線をたどっております。

先月の4月1日からは、一般家庭においても電力の自由化がスタートし、現在250社以上の電気事業者が参入し、契約先によって電気料金が色々あります。結局どこからの電気が得なのかがとても解り難いのが現実です。

発電施設や送電線や電柱を含む配電施設は、元々の各電力会社が安定供給を行うことを法律で義務付けられております。

つまり家に届くまでにかかる経費はなくなるわけではありません。

そこで各電気販売企業では、ポイントサービスなどを駆使してお客様に、お得な雰囲気をご提案されているように感じます。

来年4月から都市ガスも自由化になるとの事が予定されており、オール電化ではない戸建住宅の場合は、さらに混乱してしまう可能性があります。

近未来的な環境対策に関する政策的方向性は、町など都市が連携して電力管理を行う、スマートコミュニティやスマートグリッドになります。

現在の電気のメーター機器は、上記に備えてスマートメーターの導入が急がれております。またHEMSといった家庭内における電力消費の見える化の対応策が拍車を帯びてきました。これらをネットワーク化することによって、社会全体のエネルギーロスを減らし、何十万kw、何百万kwといった単位で削減できるのではと、言われております。ちなみに大型の原発一基が100万kwですから、スマートコミュニティやスマートグリッドは必須となります。

電力の自由化に関しては、慌てることなく、冷静に吟味することが肝心です。新規電気販売会社は、ガスや石油との使い合わせを前提にした電力メニューが殆どです。「ファースの家」のお施主様は、迷うことなく従前の電力会社からの電気をそのまま使用する事が最善だと言えます。（推進事業部 藤原智人）

◇ 春から梅雨への端境期です ◇

今日から5月です。この季節は、肌寒い日も多かった春を過ごし、エアコンの要らない、一年でもっとも過ごし易い時季でもあります。

この5月は、晴天も多く空気が最も乾燥する時期でもあり、住宅のリフォーム工事などを行なう季節としても絶好と言えるでしょう。

「ファースの家」にお住まいのお施主様は、気候が良い時は窓を大きく開けて自然の空気を存分に取り込んでも全く問題の無い時季でもあります。

また「ファースの家」以外一般の住宅では、床下環境を整える時でもあります。「ファースの家」にはついておりませんが床下換気口は、その状態をチェックして開閉式の場合は大きく開き床下通気を促す必要があります。

土間コンクリートなどの防湿対策を行っていない一般の家は、建築基準法で設置が義務付けされている「床下換気口」です。その床下換気口がゴミで詰まっていると、家の寿命にも大きく関わりを持ちます。

この時季に換気口のチェックをしっかりと行なうべきです。

（研究開発室 藤木幸太）

幸太の知恵袋

切れない包丁を簡単に研ぐ

包丁は手入れを怠るとすぐに切れなくなってしまふもんだね。通販で買った高級な包丁も、切れなくなったんじゃ可哀相だね。

でもね、クレンザーを使って、砥石なしでも簡単に包丁が砥げる方法があるから、試してごらん。

まずね、台所用クレンザーと大根を用意するんだよ。

大根を、手のひら大の輪切りにしてね、その表面にクレンザーを振るんだよ。

軽く濡らした包丁を、まな板の上に置いて、大根を包丁の刃先に当てて、剣先に向かうように大根を上下させるとね、さあ、これだけで、汚れたり、錆びた包丁につやが出るんだよ。

きめの荒いクレンザーが、大根の中に入り込んで、包丁の表面をやさしく磨いてつやを出してくれるってわけ。

建築情報や知識は、ファース本部公式サイトで！



ファースの家

検索

